

## 「人工内耳の現状と展望」

世界で40万人以上が使用している「人工内耳」は、最も成功した人工臓器の一つとして評されています。難聴治療へのインパクトは大きく、2013年にはラスカー賞の対象になりました。このデバイスは、性能が年々改良されてきましたが、いくつかの課題も残されています。2022年7月4日（月）に開催のワーキンググループでは、大阪大学、近畿大学において、数多くの人工内耳手術をご経験され、その症例数は国内でトップクラスの土井勝美先生をお招きし、人工内耳の現状と展望についての話題をご提供いただきます。土井先生は、近畿大学耳鼻咽喉科・教授を今春にご退官ののち、現在も第一線で診療に当たっておられます。企業の方々のみを対象にした意見交換の場も、いつも通り開催します。オンライン形式ですので、どうか奮ってご参加ください。

感覚研究コンソーシアム  
聴覚ワーキンググループ事務局

### プログラム

開催日時： **2022年7月4日（月）15時より**  
オンライン（Zoom パスコードは約1週間前に、参加者のみに通知）

15:00 - 15:05 「開会のあいさつ」  
日比野 浩（大阪大学大学院医学系研究科）

15:05 - 16:10 「人工内耳の現状と展望」  
土井 勝美（医療法人医誠会 顧問）

16:10 - 16:40 「意見交換会」（企業会員限定）

註）アカデミア特別会員で参加ご希望の方は、事前に申し込みが必要です。下記 URL から、2022年6月20日（月）までにご登録をお願いします。

参加申込 URL：<https://forms.gle/kzzuMqKcWTDLjTtB7>